

なまら危ないべさ！ 戦争法案！ No. 18

全北海道教職員組合・2015年9月17日

**立憲主義、民主主義、国民世論を否定する
安倍独裁政治の真の姿が証明された9・16
しかし、世論の力で簡単に採決させず！**

連日大行動

今週から毎日、国会周辺では抗議行動が行われています。初日は平日にもかかわらず4万5千人が集まりました。札幌では14日は1,000人、15日は1,200人、16日は1,500人と日に日に膨れあがっています。

法案に反対だけでなく、国民世論を無視し、答弁もボロボロなのに強引に成立をめざす安倍政権の国会運営にも怒りの声が寄せられています。道内では釧路や旭川などでも「総がかり行動」がとりくまれています。



札幌大通公園の様子

公聴会は単なるセレモニーか？



「困難な時代にこそ希望がある」

15日には中央公聴会が開かれ、与野党推薦の公述人6名が賛否の意見を述べました。中でも注目をあびたのが、一般公募95人の中から選ばれたSEALDsの奥田愛基(あき)さんです。冒頭から寝ている議員に対して「起きて聞いてください！」と注意し、これまで街頭に立って訴え感じてきたこと、ころころ変わる国会答弁を「一体どうやって国民は納得したらいいのか」、この法案が成立したら国民

は黙っていないし、それは次の選挙に影響すること、そして議員に「あなたにしかできない尊い行動をとってほしい」と訴えました。

15日は、与党と維新の党の協議が決裂したり、与党と次世代の党・新党改革・日本を元気にする会との協議を経て、歯止めとする国会関与を強化する閣議決定を盛り込むことで合意し、野党3党が採決で「賛成」に回ることが決まりました。その流れから与党は、16日の神奈川での地方公聴会終了後、午後6時から参議院特別委員会での安倍総理が出席し審議を打ち切る総括質疑を提案し、鴻池委員長の職権により会議日程が決定され、民主党を中心とした野党5党は徹底抗戦の構えを示しました。

しかし、神奈川の公聴会でも鴻池委員長に「公聴会をセレモニーにするな」の意見を突きつけたり、国会に戻る議員の車を阻止するため路上に寝転がり体で抵抗する市民の行動があったりして、特別委員会の開催が大幅に遅れました。国民世論と野党が押し込んだ形です。

歴史的なたたかいに生きる

16日は道教組から新保副委員長、梶木書記長が国会前の座り込み行動に参加しました。午後1時、3時、4時半からの全体集会は、菱山南帆子さんの力強いコールで始まり、民主・共産・社民党からの連帯あいさつ、主催団体のスピーチが続きました。話題の多くは、中央公聴会での奥田さんのスピーチにふれるものが多く、それだけ彼の訴えが国民の胸に響いた証です。一番響いてほしい安倍総理や法案賛成議員にはどのように聞こえたのでしょうか。



戦争法案、今すぐ廃案！

神奈川で午後1時から開かれた地方公聴会。それが終わったら国会に急ぎ戻ってきての委員会開催。国会前の抗議行動の規模は空前の規模になることが予想され、警察も早々と今までにない規模の嚴重なバリケードを設置していました。(新保・梶木は午後5時で離脱)



国会正門前歩道に座り込む全教組会員



国会前車道を封鎖する警察車両の列

野党の攻防で委員会は大幅に遅延



16日夜には国会周辺には3万5千人が詰めかけました。国会内では民主・維新・共産・社民・生活の党と山本太郎となかまたち・「無所属クラブ」の6党会派が奮闘し、夜通し特別委員会は開かれずにいました。



17日の朝には、理事会を理事会室で開かず直接委員会室に参集した問題や、野党から鴻池委員長への不信任動議が出されたことで鴻池委員長は退席し、代わりに佐藤正久筆頭理事（ヒゲの隊長）を指名した問題で大いに紛糾しました。民主主義を無視した安倍政権の国会運営がNHKで放映されたことは重要です。